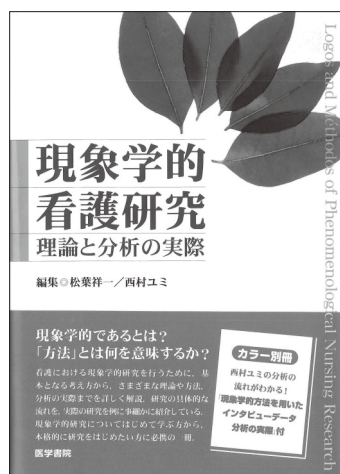


現象学的看護研究 理論と分析の実際

編：松葉祥一・西村ユミ
発行：医学書院(TEL.03-3817-5600)
定価：本体¥3,200 円＋税

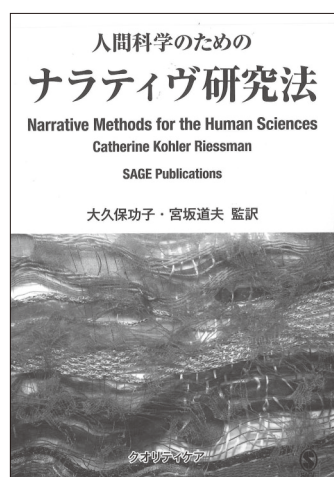
現象学で学ぶ上で画期的な1冊。看護研究における質的研究の基盤に現象学を据え、現象学の歴史と現状を紐解きながら、他の質的研究との違いをわかりやすく解説する。「難解」と評される現象学的看護研究であるが、西村氏の分析の道のりを示す別冊が理解を一層助ける。現象学的看護研究の山に登ろうとする人たちへの貴重な道しるべとなる、必携の書。



人間科学のための ナラティブ研究法

著：Catherine K. Riessman
監訳：大久保功子・宮坂道夫
発行：クオリティケア(TEL.03-3953-0413)
定価：本体¥3,500 円＋税

人間を科学する手法としてのナラティブ研究。その流れはいま、「物語的転回」を源に「研究者と参加者双方の主観性を視野に入れたエスノグラフィー」へと拡張し、「解釈的転回」を経て、「ナラティブ分析のさまざまな方法は、方法論上の詳細な吟味が可能になるほどに円熟してきている」(引用はいずれも本文)。ナラティブ研究法の地平を拓く貴重な1冊。

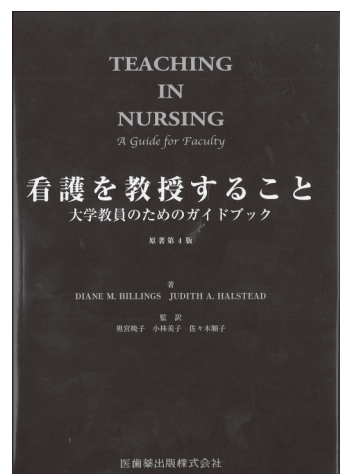


看護を教授すること

大学教員のためのガイドブック 原著第4版

著：D.M. Billings・J.A. Halstead
監訳：奥宮暁子・小林美子・佐々木順子
発行：医歯薬出版(TEL.03-5395-7616)
定価：本体¥8,000 円＋税

わが国において多くの看護教員は、「教えること」の教育はこれまであまり受けてはこなかった。自身の経験を頼りにした教育には、自ずと限界がある。その意味でも本書は、これまでの日本にはなかった、「看護学を教授する」というスタンスに立つ、貴重なガイドブックである。カリキュラム開発や学習の進め方、評価に至る教育のプロセスを論理的、実践的に「教授」してくれる。



看護技術

ナラティヴが教えてくれたこと

著：吉田みつ子

発行：医学書院(TEL.03-3817-5600)

定価：本体¥1,600 円＋税

医療者にとって大事なことは、患者さんが教えてくれる……。高い技術をもつ多くの先人たちが、異口同音に語ってきた。本書もまた、患者・家族や同僚の物語＝ナラティヴから学び、そこに生まれた個別の看護技術を、17の「看護技術」論に昇華。ケアしにくい患者さんがいても、その人の物語を踏まえたケアの工夫こそが、看護技術を更新する。



テキスト臨床死生学

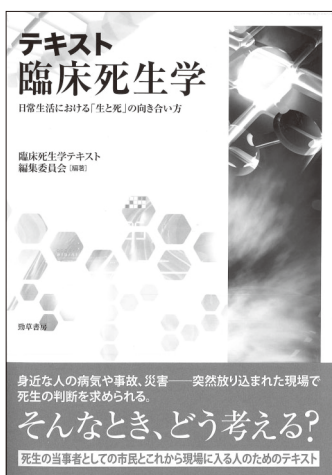
日常生活における「生と死」の向き合い方

編著：臨床死生学テキスト編集委員会

発行：勁草書房(TEL.03-3814-6861)

定価：本体¥2,400 円＋税

人の死は、必ずしも文字通りに「床」の上で訪れるとは限らない。本書は、死に赴く人、死に見舞われる人、死を選ぶ人、さまざまな人の死のあり方を視野に収めた、初めての「死」のテキストである。人の死に立ち会う医師・看護師等の道を進もうとするこれからの医療識者に多角的、学際的観点から「死」の意義を伝える。



看護の教育・実践にいかす

リフレクション

豊かな看護を拓く鍵

著：田村由美・池西悦子

発行：南江堂(TEL.03-3811-7239)

定価：本体¥2,800 円＋税

実践を振り返り、得た知見を次の実践に活かすためのリフレクション。振り返りを単に振り返りととどめず、経験から学び、看護実践の質向上につなげるリフレクションとはどういったものか。本書「理論編」で基礎となる考え方を整理し、「実践編」では、看護行為を意図的に振り返る reflection-on-action の学習方法を伝える。教育者、管理者の指導用に、また学習会にも最適のテキスト。

